

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ419-2	55	森永ミルク砒素中毒児健康調査のメモ	大和人士(元岡山県粉乳砒素中毒調査委員会委員長)、佐野俊平(元岡山県粉乳砒素中毒調査委員会副委員長)	岡山県医師会報	1973.01.10
MZ419-2	56	森永砒素ミルク事件被災児のその後	丸山博(前大阪大学医学部教授)	健康会議	1973.05.01
MZ419-2	57	中毒疫委報告 参考資料(順不同)	中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会		1973.04.23
MZ419-2	58	〈冊子〉日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」報告(案)	中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会		1973.07.
MZ419-2	59	日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」報告(案)	辻達彦(委員会委員長)		1973.09.01
MZ419-2	60	瀬野地区における広大・岡大合同検診中間報告(案) 森永砒素ミルク中毒に関する疫学調査(手書き原稿)	岡山大学医学部衛生学教室		1972.01.
MZ419-2	61	森永砒素ミルク中毒症追跡調査中間報告(小児科)	西田勝、神尾守房、豊島協一郎(大阪大学医学部小児科学教室)	医学のあゆみ	1970.07.04
MZ419-2	62	森永「砒素ミルク」中毒犠牲者に関する社会統計学的探究	飯淵康雄(大阪大学医学部衛生学)	経済研	1970..
MZ419-2	63	前川報恩会に提出した「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」成果報告(案)	辻達彦(委員会委員長)		1970.10.
MZ419-2	64	日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」中間報告(案)	日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」		1970.10.28
MZ419-2	65	中毒疫委(日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」)報告書補足部分(案)	辻達彦(委員会委員長)		1973..
MZ419-2	66	第2回日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」議事録			1970.01.24
MZ419-2	67	第4回日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」議事録(その1)			1970.04.27
MZ419-2	68	第4回日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」2日目議事要録			1970.04.28
MZ419-2	69	〈冊子〉学会を告発する—第27回日本公衆衛生学会における二つの事実経過報告—	第27回日本公衆衛生学会自由集会“若い公衆衛生従事者の集い”事務局		1970.03.20
MZ419-2	70	森永砒素ミルク被災児に関する疫学的研究	五島正規、大平昌彦、青山英康(岡山大学医学部衛生学教室)	日衛誌	1971.04.
MZ419-2	71	森永砒素ミルク中毒事件被災児のその後—医学生の実習報告を主体として—	丸山博(大阪大学医学部衛生学教室教授)	日本医事新報ジュニア版別冊	1971.04.15
MZ419-2	72	14年前の森永砒素ミルク中毒生残児に関する若干の今日の問題点(民族衛生学会発表手書き原稿)	丸山博、飯淵康雄(大阪大学医学部衛生学)		1969.11.05
MZ419-2	73	森永砒素ミルク中毒追跡訪問のお知らせ	郷地秀夫(神戸大学医学部神戸森永砒素ミルク中毒後遺症を追跡する会代表)		1971.03.
MZ419-2	74	森永砒素ミルク中毒被災児日見症状調査(森永ヒソミルク中毒後遺症に関する学術シンポジウム関係資料)	森永砒素ミルク中毒被災児後遺症調査研究班:岡山		1970.05.31
MZ419-2	75	被災児の生活と人権・健康を守ろう—18年目の森永砒素ミルク中毒被災児	常久勢子、柴田明美、森田英子(岡山県民医連)、上畑鉄之丞(杏林大学医学部衛生学教室)	健康会議	1973.09.01
MZ419-2	76	不死鳥としてはばたく保健婦—財団法人ひかり協会ができるまでの歩み ○守る会運動の経過…稲村晃江(事後調査の会・大阪府立成人病センター) ○被害者とともに歩み続けて…松尾禮子(事後調査の会・大阪市北保健所) ○森永ミルク中毒追跡調査に学んで…大塚睦子(事後調査の会・大阪府立堺養護学校教諭) ○事後調査の会の取り組み…稲村晃江(事後調査の会・大阪府立成人病センター) ・交流を通じて思うこと…小池まき子(被害者の会大阪府本部委員長) ・保健婦さん、お願い…寒川利朗(財団法人ひかり協会業務部長) ・近頃思うこと…太田明子(事後調査の会・大阪府茨木保健所) ・“文化祭”にも意欲的に…野坂忍(事後調査の会・近江八幡市立岡山小学校養護教諭) ・尼崎からの報告…大岸弘子(尼崎市北保健所園田支所)・遠山きよみ(尼崎市東保健所) ・精密検診参加とひかり協会への協力…金沢彰(大阪府立公衆衛生研究所・精神科医)		保健婦雑誌(別冊)	1974.10.10
MZ419-2	77	〈冊子〉愛媛からの報告—森永ヒ素ミルク事件実態調査	愛媛県森永ミルク中毒対策会議		1974.04.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ419-2	78	〈冊子〉森永ミルク中毒事件被害者家族の手記—15人の証言	高松平和病院森永ヒ素ミルク対策委員会		1973.11.
MZ419-2	79	〈冊子〉森永ヒ素ミルク中毒事件と被害者のその後	山下節義(奈良県立医科大学衛生学教授)	公衆衛生	1987.08.15
MZ419-2	80	森永ヒ素ミルク中毒被災児の現状—中間報告—	森永ヒ素ミルク中毒追跡調査委員会	社会医学研究	1971.08.25
MZ419-2	81	森永砒素ミルク中毒研究会(於・岡山市)関係資料 ①プログラム ②大詰め迎えた厚生省検診—私たちのとりくみと現在の問題点……岡山民医連事務局 ③森永ミルク中毒被災者の健康調査—17年目の現状……岡山協立病院・前田啓子(CW)、森田英子(CW)、石坂美津子(保健婦)、高木美砂子(保健婦)、上畑鉄之丞(医師) ④水島協同病院関係資料 ⑤山下先生のメモ			1972.03.26
MZ419-2	82	〈冊子〉京都における森永ヒ素ミルク中毒被害者の生活と健康の実態(京都府森永ヒ素ミルク中毒追跡調査委員会報告)	京都府・京都市		1975.08.31
MZ419-2	83	森永ヒ素ミルク中毒事件被害者のその後—京都からの報告—	谷口玲子(京都市西京保健所保健婦)、山下節義(奈良県立医科大学衛生学教室教授)	Nurse eye	1993.07.
MZ419-2	84	CURRENT STATE OF KYOTO CHILDREN POISONED BY ARSENIC TAINTED MORINAGA DRY MILK (※MZ419-2-9を英訳したもの。山下先生の手書き原稿も添付)	Yamashita Noriyoshi, Doi Makoto, Nishio Masashici, Hojo Hiroatsu, Tanaka Masato		
MZ419-2	85	森永ヒ素ミルク中毒事件の軌跡—被害者は、今……—	山下節義(奈良県立医科大学衛生学教室教授)	レイチェルカーソン京都セミナー講義資料	1995.03.08
MZ419-2	86	森永砒素ミルク中毒症85人の追跡調査結果(小児科)	豆高勘一郎、西清臣(大阪大学医学部小児科学教室、森永砒素ミルク中毒症追跡調査会世話人)		
MZ419-2	87	成人期に達した森永ヒ素ミルク中毒事件被害者にみられる健康被害の特徴とこれからの「救済」対策のあり方をめぐって	西谷宣雄(小松病院)、山下節義(奈良医大)	健康会議	1984.02.01
MZ419-2	88	〈冊子〉京都における森永ヒ素ミルク中毒被災児の現状とその対策((京都府森永ヒ素ミルク中毒追跡調査委員会報告)	京都府・京都市		1972.03.31
MZ419-2	89	森永砒素ミルク被災児の発育・発達上の諸問題—疫学的なアプローチの試み—	合田節子、藤田育子、橋本真紀、和田節、松川良子、坂東美知子、三原千津子、中桐佐智子(岡山大学医学部衛生学教室)		1970..
MZ419-2	90	〈冊子〉昭和50年度健康管理研究報告 ①京都D対委員会……森永ミルク中毒被害者の健康管理の在り方について ②中川米造……大阪救済対策委員会の相談活動の分析と評価 ③岡山・藤田グループ……健康管理方式とその評価に関する研究 ④尾瀬裕……森永ヒ素ミルク中毒被害者の健康管理方式とその評価に関する研究 ⑤下津井病院健康管理チーム……健康管理方式とその評価に関する研究	財団法人ひかり協会健康管理委員会		1977.09.
MZ419-2	91	〈冊子〉京都における森永ミルク中毒被害者の生活と健康の実態	京都救済対策委員会、京都D対研究会、ひかり協会京都事務所		1977.12.20
MZ419-2	92	〈冊子〉広島県における森永ミルク中毒被害者の「健康と生活」の実態	財団法人ひかり協会広島事務所、広島県地域救済対策委員会、「健康と生活」実態調査小委員会		1978.10.
MZ419-2	93	〈冊子〉森永ミルク中毒被害者の健康管理に関する研究報告—京都における森永ミルク中毒被害者の生活と健康の実態	山下節義、財団法人ひかり協会、京都D対研究会、京都救済対策委員会		1979.02.
MZ419-2	94	〈冊子〉昭和53年「健康と生活」の実態調査—中間報告書—	財団法人ひかり協会健康管理委員会		1978.02.20
MZ419-2	95	〈冊子〉昭和56年度森永ミルク中毒被害者の実態調査結果について	財団法人ひかり協会		1982.12.
MZ419-2	96	〈冊子〉「常時協会との連絡を希望する被害者(アンケート①)」の「健康と生活」実態調査(第1次)結果	財団法人ひかり協会		1986.05.
MZ419-2	97	〈冊子〉常時協会との連絡を希望する被害者の「健康と生活」実態把握第2次調査結果	財団法人ひかり協会		1990.01.15
MZ419-2	98	〈冊子〉常時協会との連絡を希望する被害者の「健康と生活」実態把握第3次調査結果	財団法人ひかり協会		1994.01.15
MZ419-2	99	〈冊子〉常時協会との連絡を希望する被害者の「健康と生活」実態把握第4次調査結果	財団法人ひかり協会		1998.02.21

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ419-2	100	〈冊子〉常時協会との連絡を希望する被害者の「健康と生活」実態把握第5次調査結果	財団法人ひかり協会		2002.02.23
MZ419-2	101	京都における森永ミルク中毒被害者の生活と健康の実態—昭和52年度実態調査の中間集計結果の概要—	京都救済対策委員会・調査委員会		1977.09.
MZ419-2	102	面接相談の手引	京都府・京都市・森永ヒソミルク中毒追跡調査委員会		
MZ419-3	1	森永ミルク中毒事件をめぐる—医療の立場から⑥ヒ素中毒既往児の剖検例	岡野錦弥(大阪大学医学部第2病理教授)	大阪保険医雑誌	1974.09.20
MZ419-3	2	ドライミルクによる慢性砒素中毒症の臨床的観察とその剖検所見に就いて	津田恵、國武功、加治昭三、中島輝之(市立若松病院小児科)	小児科診療	1956.02.
MZ419-3	3	奈良県下に於ける森永ドライミルク中毒者の解剖例について	山本久和、広田忠臣(奈良医大)、疋田圭男(奈良警)	日本法医学雑誌	1955.11.
MZ419-3	4	粉乳による乳児砒素中毒症の剖検所見	富金原茂、赤尾智、多賀谷創平(広島鉄道病院小児科部)、神部誠一、朝信宣丸(大阪市立大学医学部病理学教室)	小児科臨床	1956.02.05
MZ419-3	5	粉乳による中毒死傷事件の鑑定例	佐尾田明、岡田文、三村卓(徳島県鑑識課)	科学と捜査	1957.12.
MZ419-3	6	粉乳による慢性砒素中毒死例の解剖的並びに化学的検査所見	松倉豊治、野村頭、浅井賢、秦礼(徳島大学医学部法医学教室)	日本法医学雑誌	1957.01.
MZ419-3	7	森永MFドライミルク中毒屍の剖検所見ならびに各臓器中の砒素量について	溝井泰彦、何川涼、木村昭雄(神戸医科大学法医学教室)、宇野一郎(兵庫県衛生部医務課)、楠元康久(神戸医科大学病理学教室)	神戸医科大学紀要	1956.12.
MZ419-3	8	乳児粉乳中毒症の血液学的所見及び6剖検例並びに実験的研究	門前徹夫、舟木佐一、二井屋田仁一、吉岡与一、井尻潔、太田寺繁、大上きみよ、米原妙子、近木綾子	広島医学	1956.04.
MZ419-3	9②	〈冊子〉森永ヒ素ミルク中毒児の剖検例	岡野錦弥、岡本祐三、浜六郎(大阪大学医学部第2病理学教室)	医学のあゆみ(抜き刷り)	1972.08.05
MZ419-3	10	粉乳(砒素)中毒症の剖検所見	馬場為義(大阪市立大学医学部病理学教室)	大阪市医学会	1955.10.
MZ419-3	11	THE PATHOLOGIC ANATOMY OF THE BEBIES WHO DIED OF ACCIDENTAL DRY MILK POISONING DURING THE SUMMER	S.KAMBE et.al(大阪市立大学)	Acta Pathologica Japonica	1955..
MZ419-3	12	TWO AUTPSY CASES OF SUCKLINGS DYING FROM ARSENIC POISONING CONTAINED ACCIDENTALLY IN DRY MILK	K.OGATA et.al(徳島大学医学部)	Acta Pathologica Japonica	1955..
MZ419-3	13	粉乳による慢性砒素中毒死例の検査所見	松倉豊治、野村頭、秦礼(徳島大学医学部)	日本法医学雑誌	1956.05.
MZ419-3	14	所謂ドライミルク中毒事件の剖検所見	大村得三、柴田衛敏、高部福太郎、魚谷嘉男、松本秀雄、加島融、水野進(大阪大学医学部法医学教室)	日本法医学雑誌	1958.01.
MZ419-3	15	乳児慢性砒素中毒症の血液学的所見及びその剖検所見に就て	門前徹夫、舟木佐市(県立広島病院研究検査科)、佐野英二、尾田信彦(県立広島病院小児科)、金子憲夫、沼田丈治、和合満亥(広島日赤病院小児科)	広島医学	1957.01.
MZ419-3	16	THE PATHOLOGIC OF A MASS ARSENIC POISONING IN SUCKLNGS CAUSED BY TAKING DRY MILK. A REPORT OF FOUR AUTOPSY CASES	T.ODA et.al(岡山大学医学部)	Acta Pathologica Japonica	1955..
MZ419-3	17	慢性砒素中毒人屍の胸腺と副腎について	柴田衛敏、加島融、出島正秀、市丸精一(大阪大学法医学)	日本法医学雑誌	1959..